

# グリーン・ピックス

No.69

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場



## 北海道南部 江差町の桐材を活用した防風林の 生物多様性保全機能の普及・啓発の取り組み①

### 1 防風林の管理が育む多様な生き物



普及パンフレット↑  
無料DL可(12MB)→



最新の研究で、防風林の管理が、絶滅危惧種のチョウや花を含む多くの野生生物のすみかを守り、生物多様性保全に寄与していることがわかりました。

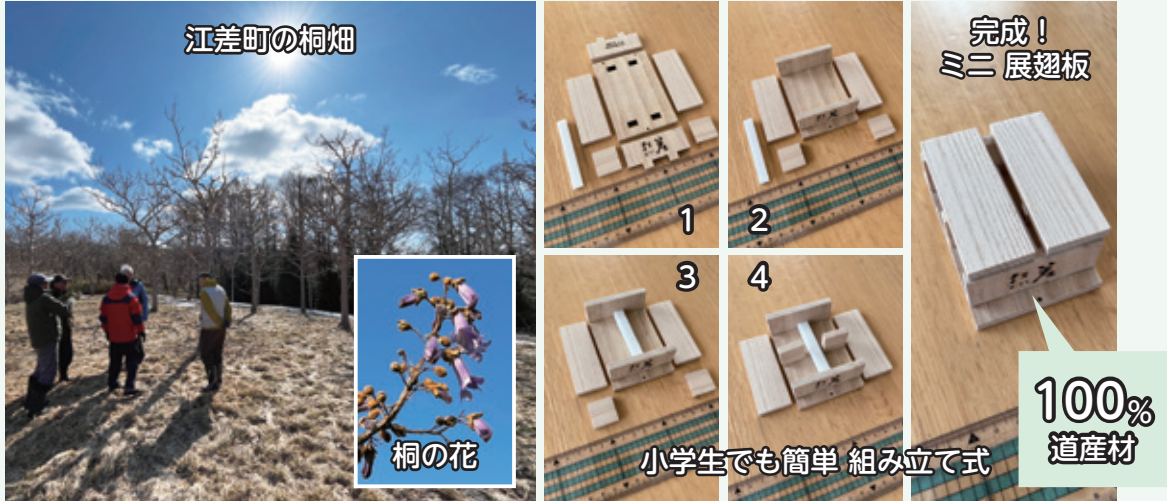
### 2 チョウの標本を活用した生物多様性の普及啓発



生物多様性の指標となるチョウの標本を活用し、防風林の機能について普及活動をしています。チョウの標本作製には、**展翅板(てんしばん)**という桐製(きりせい)の木工品が必要です。

本取り組み②については、最終ページをご覧ください。

### 3 道南江差町の桐<sup>きり</sup>を活用した ミニ<sup>てんしばん</sup>展翅板 試作



江差町で 北限の桐 が栽培されています。それを活用した100%道産材ミニ展翅板（簡易標本作成キット）を、江差町の方々や木工職人とともに開発しました。こどもから大人まで簡単に組み立てができる扱いやすいものになるよう工夫しました。

### 4 ミニ<sup>てんしばん</sup>展翅版 を活用した防風林機能普及の試み



道産材100%のミニ展翅板を活用した「防風林にすむチョウの標本づくり体験」を通して、人が管理する森林環境の特徴や、防風林本来の機能と生物多様性保全機能を両立する管理方法について、広く普及します。

（林業試験場 速水将人・脇田陽一 | 林産試験場 岡安孝弘・住吉和希）